

第102回 獣医学セミナー

がん幹細胞と生体幹細胞に 共通する「Stemness」とは

伊藤晴倫 先生
(動物医療センター)

2025年6月24日 (火) 17:00-18:00

iCOVER1階 101

幹細胞とは、多分化能と自己複製能を有する細胞と定義されており、生体においては血液を供給する造血幹細胞などが該当する。また、がん組織においては再発や転移に関与するとされる。アルデヒド脱水素酵素とは、細胞毒性を有するアルデヒドを代謝する細胞内酵素であり、ヒトではがん幹細胞と生体幹細胞の両方でその活性の上昇が認められるユニークなマーカーである。我々の研究によると、アルデヒド脱水素酵素はマウスおよびイヌでもがん幹細胞と生体幹細胞の両方でその活性の上昇が認められた。本セミナーでは、これまでの研究で明らかになったアルデヒド脱水素酵素などのがん幹細胞と生体幹細胞の両方で発現している因子やその機能について紹介する。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：吉寄（5890）、羽原（5885）

